諸家系譜

位三
寸
鈴木

太政官文庫
和書門
類 三三六四九
號
函
架 二三五
冊

共二百廿五冊
共八十七

内閣文庫
和書
類 三三六四九
號
冊 二三五
架 一五一・一九

内閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225(221)	
函號	156	23

国立公文書館
National Archives of Japan

未十二月十七日出

寄合
旧高七百石○増田[illegible]

先祖書

す
安永八年以上
寄合

小普請
鈴木新吉

覚

熊倉　後藤本

後藤本之儀者先年東山殿ゟ熊倉雅楽也正筆之由
為持来候処、此儀相違無之候得共
本書ニ者正筆附無之候間、後藤本ニ添候

家之紋　一ツ亀甲
六角ノ内ニ花菱

替紋　丸ノ内三ツ柳ノ葉

幕ノ紋　六角ノ内ニ花菱
丸ノ内三ツ柳ノ葉

但熊倉家紋一ツ亀甲ニ而、後藤本ニ家紋柳ノ

葉ニ有之、然ル処熊倉後藤本ニ者家紋
亀甲之内ニ後藤本ニ家紋
有之候、依而相尋候処、熊倉之家紋
相改候儀ニ候哉
後藤本ニ熊倉家紋一ツ亀甲ニ候
右書面之趣承知致候、亀甲
之内花菱ニ候、右之通ニ御座候

熊倉雅楽也正筆之由

正信 ―― 雅楽也

世不詳　　浪人

右之通相認候　後藤佐左衛門

生年不知　天正八庚辰年　小笠原氏出

為那須小田原左衛門氏出後為山信濃仕

其後山随于京、遂元和元乙卯年七月廿六死

葬東福山寺号瑞花道珊居士

女子　母

嫁所不知

荻原休雲妻

女子　母

左兵衛尉某妻

女子　母

嫁所不知

同上

正晴　母

八郎太夫

女子　母　丸佐治某女　後離別

妻　荻原氏不知

後妻同　安藤十兵衛女

同上

生於年月不知十歳時父離別也、一家之

左衛門後以後佐[illegible]山城守、爲清

猶因其[illegible]育、元寛永十九壬午年七月

廿七日死六十七葬東福寺　号長寿院久峯[illegible]

女子　母

嫁所不知

同上

女子　母　某氏

丸佐治某女

正運　隆本三郎兵衛

母　同上

妻　泉州山城国　紀田与兵衛正勝女

生江戸　三歳ノ時相果　其後母再嫁隆本専右衛門一旦継家督

浪岩ヘ養子ニ成後ニ為隆本氏実子之聟浪人仕候處

有之事ニ付緑ニ　而　寛文八申年

九月十六日死　年七十八　葬于法正寺号良現院

法名　法栄院

勘兵衛

母

某埒法名某

某娘十五之女

年月日　某某真享年中某某家来　法文某埒

武兵衛之子

正来　細谷小市郎

母　同上

妻　水野某家来　小嶋甚兵衛女

生国同年月日某法後ニ　某某

桃谷大塚組ニ入　寛永年七月十六日死　七十二

葬江戸某道興院　法名某某

女子

母　同上

河内某家来　樋松角右衛門妻

正俊　某郎之丞

母　同上

年月日不知阿紀郡中　近...

法名...書写...　右...

女子

母　不知　大野...妻

正道

母　小...　女

鵜飼...

年月日不知秋元但馬守...

女子

母　同上　山田...妻

阿紀郡...

女子

母

小林...　小...妻

女　同上

正直

母　...　鵜飼...

母　不詳

妻　...女

年月日不知...

...

八十...不...

某

母　不知

年月日不知秋元但馬守...

鵜飼...

正始

...鵜飼...

母 小野寺太郎女
妻 不知

某 嫡男 熊谷長次
母 不知

季有 嫡男 熊谷弥三郎
母 不知

朱書
右熊谷苗字相改季有迄熊谷ニ而御座候
相勤申候浪人仕其以後段々
貴殿ニ而当時同氏熊谷ハ季有迄御座候
委不知

女子 阿部長兵衛妻 桜田源之進之母
母 武村如何 宮内女

正高 嫡正胤 季有養 養子
母 同上
妻 阿部長兵衛次女 桂紅院源之女
後妻 尾張大納言殿家臣 羽田源左衛門信女
生國 対
阿部家ノ時正高浪人ノ後季有ニ養子ニ被仕候
青柳孫兵衛当分無之相続仕候其
後季有正高後浪人ニ付御縁ニ付
子孫内々相続仕正高後同所住居正高

右之通人々存寄御座候　存命之内如此近江ニ居申

年　月　日

常憲院様江於御前御目見　同月之仕　同年七月朔日

御書院番ニ被仰付　其後御小姓組

[illegible]

御[illegible]　同年十二月廿六日　[illegible]

癸未年　[illegible]

有徳院様御逝去ニ付小普請　[illegible]

元禄元戊辰年十二月　[illegible]

十二月　[illegible]　同十二　[illegible]年　八月　[illegible]

年月　[illegible]　同[illegible]　享[illegible]　乙年

[illegible]

[illegible]　宝永五戊子年　十二月　[illegible]

[illegible]　元[illegible]年　十月　[illegible]六　葬所

[illegible]

[illegible]

一
[illegible]

男子

女

[illegible]

宝文　[illegible]

室 某氏 大久保右京亮組 紀田与右衛門宗務女
妻 某父 鈴木市之丞 正孝 女

生駒村鴻巣 寛永元甲申年 七月廿六日 某父
正孝 隠居ニ付 遺跡相続 同年十二月十日 勘定方ニ
宗寿院様ニ 附属 被仰付 同六己丑年 四月廿六日 御勘定方ニ
被召出 被仰付 相勤 某父 某部(?)
御代官 被仰付 同七庚寅年 六月
廿六日 被仰付 加判 被仰付
相勤 御納戸 某父 享保年中 隠居 御切米
十六日 同二壬辰年 二月 死 病死 同年 十月
十六日 家督 御代官 被仰付 同年 正月

御勘定被仰付 享保九甲辰年 正月九日 御普請
国廻 被仰付 同十三戊申年 正月廿六日 奥勤 内々
御代官被仰付 寛保二壬戌年 七月六日 関東 御代官
被仰付 延享四丁卯年 六月廿六日 老衰 令 致隠
之父 宝暦 御蔵 被仰付 御足米 被下置 隠居 蟄居
被仰付 廿五年 勤 御納 依之 御褒美
被下置 御勘定 御納戸 御勘定 吟味役 小普請
長谷川 久右衛門 死去 御目付 宗左衛門 延享
某代 某年 四月 六日 隠居 同年 月 某 剃髪 宝暦
三癸酉年 十月 死去 七十九歳 葬 浅草 寺
正覚院 法名 頂蓮元水

正甚兵衛儀 与兵衛方ニ罷在候 然所御附浦賀組
高ニ付 養父御扶持方御仕舞
先ニ書載有年月日不詳

女子　母　書子　正甚兵衛妻
梅村角之助女

女子　母　御徒目付組頭後 渡辺熊介 野馬栗之書
羽田徐之進 正房妻

栄　母　早世　兵蔵　同上

女子　母　早世　同上

女子　母　早世　同上

女子　母　早世　同上

栄　母　早世　又三郎
渡辺三右衛門 正房女

正房　母　同上　辰八郎
妻　小普請 松平伊予守組 関根半四郎 殖道女
生江府 享保七壬寅年 六月十六日 誕生之
有徳院様ヘ 御目見之 他同十八歳 己年 七月朔日 安

一 小笠原御代官不足之節 依江村大津山役勤之
門飼未勤之 同十九甲寅年十一月廿八日死 二十六才
葬於 大津紀伊寺 号能光院秋山居士
相伝所付御用向書留無之

女子
母 小笠原信継娘 同上
辻源三郎正尭妻

女子
母 勤山高城ヶ娘 同上
吉田源右衛門正妻

正甫
母 小笠原右衛門娘 同上
肥田久米太郎
享保八年 十七才 大山高 河野某継

女子
母
肥田与左衛門正但之養子
父子共不死 同上

女子
母 早世 同上

女子
母 小笠原信継娘 同上
非常小笠原妻

養女
母 同上
大山高堀田某娘 某妻
実父 小笠原門某
実母 某女

正栄 ― 作五郎 ― 小笠原

母　　恩田平四郎　女

妻　　小普請組支配　大久保源次郎忠紀女

寛政元年十九才　寅年十月六日　祖父五兵衛

郎之嫡孫承祖ニ　依付延享元甲子年五月十八日　小普請

右作願候ニ　同月廿一日　同年同月十八日

惣領ヘ召出サレ支配ニ入　於本丸御番支配ニ入

九月十日　御代替同意　天明年　八月六日　御目見仕支配

而ニ拝見　御願　附藉二通し　同三酉年　八月六日

右同年　附藉二通し　同年十月廿日　去酉年

朔月　御年貢ニ付　金銀二通し　同寅年

九月廿三日　支配而拝見　御願　附藉二通し　同戌年

同月二日　文化六年　候ニ付　同年十月十八日

支配而陣屋御願ニ付　附藉二通し　同文化丑年

八月十日死ス　葬于　大庭郡　村　寺

号　桐院　葬所

嫡子　早世　右源郎

女子　母　早世　同上

女子　母　同上

女子　母　小普請組支配　小普請　支配　荻野　妻

某　早世　實家

一 西丸 ― 世 同人

新吉 ― 世

妻 同人

[illegible]

[illegible]年[illegible]月[illegible]

明和六己丑年十二月六日小普請組市橋壱岐[illegible]

手組ニ入無[illegible]年 十二月[illegible]

御明[illegible]様ニ 御用人[illegible]ニ而[illegible]

年五月廿九日 御代官同年四月十六日[illegible]

御賄所勤役 二ヶ年 同七丁未年 四月[illegible]

御代官[illegible] 同八戊申年 八月[illegible]信州[illegible]

信濃御役 二ヶ年 同年八月[illegible]年[illegible]御年貢

年内[illegible]済[illegible] 同年 七月

ニ信州[illegible]御賄[illegible]ヶ年 同年[illegible]月[illegible]

申年御年貢[illegible]年内[illegible] 同二

戌年 七月[illegible]

[illegible]

[illegible]

同[illegible]信州[illegible]御賄[illegible]二ヶ年[illegible]

同年[illegible]信州[illegible]

[illegible]

申[illegible] 同年十二月[illegible]年[illegible]御年貢

年内出精ニ付金弐枚被下之 同三未年正月廿日
大坂御殿向御破損御修復ニ付 同五丑年八月廿九日
堤普請地形取調ニ付 御役料 御勘定吟味役
申渡し 同六甲寅年十月廿二日 御勘定吟味役
出精ニ付御役料 御加増 同年十二月廿日
常之御用多ニ付金弐枚被下之 同年十二月
十六日 同七乙卯年十二月十八日 両丸奥表
御修復御用掛ニ付 同年十二月 常之御用
多ニ付金弐枚被下之 同年同月廿六日 御普請
小普請方 金五枚御目見被下之 時服被下し
同八丙辰年十二月 常之御用多ニ付

金弐枚被下之 同年同月十三日 西丸御殿御用
出勤ニ付 御目見仕金弐枚 時服二被下之 同月
廿九日 西丸御修復出来 御普請掛九月一同
出精ニ付 右御修復御用掛ニ付
同九丁巳年 同年同月廿六日 御普請方
御修復御用掛ニ付 同十戊午年十二月 御
御破損ニ付金十枚 時服二 被下之

当名

当役 小普請方改役 伊藤長吉

廿 四之

寛政十戊申年 小普請方改役
改役 伊藤 時服 被下

元長　伊藤三右衛門

母　同上

明和八卯年十二月六日小普請組[illegible]郎組

末記伊藤長右衛門[illegible]

正道　母　要之進　同上

天明七丁未年十一月十七日　兄元長養子

正道　要之進

実父　[illegible]小左衛門正栄[illegible]

実母　大久保淡路守忠紀女

妻　小普請[illegible]組一色[illegible]正容娘

女子[illegible]人[illegible]

生[illegible]　天明七丁未年十一月十七日[illegible]実[illegible]二

庚戌年十二月九日[illegible]　同月[illegible]

女子　母　父[illegible]　大[illegible]女

義経　母　勇吉　又[illegible]

嫡女

女子　母　父[illegible]　一[illegible]　娘

女子　母　父[illegible]　嫡女

未十二月廿八日
山口勘兵衛ゟ出

す
號

先祖書

根氏
千九百石　○　堀田豊前守

小普請組山口勘兵衛支配
根本勇次郎

高千俵　本國相模　生國武蔵
内　弐百俵　本高
　　八百俵　御足高
外　千弐百俵　御役料
　　御役扶持　百人扶持
寛政十戊午年
佐渡奉行
根本新吉郎　年二

清和源姓
本苗松平 鈴木
御家号信光様御十男下之御所忠勝より三代目
広忠様御代
三州伊保之城主松平大炊助忠勝之
三男 鈴木治左衛門重友
右重友父大炊助忠勝儀 松平下之御所衛門
忠勝
天正十二甲申年 於尾州小牧戦死
嫡男 安内忠正

永禄六癸亥年 於三州上和田戦死
忠勝儀も
永禄三庚申年 病死 忠勝 重友
当四歳より成長之 重友母ニ 外戚ニ相成
依之 母方之名一木
権現様え
御由緒有之候付 一本重友 十人扶持
被下 御城中ニ而 御奉公仕候
鈴木因幡助穂積重信方養子
依付 重友 重之 御役相勤候
平後重友儀

天正十八庚寅年

権現様江初而　御目見仕　其後　下総

東金之郷ニ而七百(?)石被下置　其後

重友儀右苗松平ニ而(?)[illegible]伝(?)

右ゟ御名(?)之恩(?)有之候　右ニ　[illegible]

于(?)御家之紋[illegible]

[illegible]但(?)右御紋(?)之[illegible]

[illegible]

当時(?)大学頭殿[illegible]

幕之紋

家之紋共　下り藤之丸　蔦

但　松平大学頭殿家之紋　蔦ニ而御座候

若之(?)[illegible]重友儀[illegible]

家之紋[illegible]右重友[illegible]

菊(?)桐之紋[illegible]

[illegible]重友六男

重勝

母　[illegible]松平[illegible]

妻　[illegible]山口[illegible]女

厳有院様御代
慶長十七壬子年生江府
年月不知 御目見 御右筆役
元禄十二己卯年 老衰小普請大久保
壱岐組隠居
同十六癸未年正月九日死 九十二
葬所下谷 切通 天龍寺
号 源雲院月江浄心

正福
亀五郎
喜八郎

母 岩崎□□女
妻 奥山太兵衛 小嶋源太郎女
常憲院様御代
寛文三癸卯年生江府
延宝九辛酉年六月十日 従部屋住
召出御右筆役
同年十二月十六日 部屋住勤之
元禄十六癸未年 父病死ニ付 跡目
三拾俵 二人扶持
正徳三癸巳年二月 □ 小普請入

松平主計頭養女ニ入　小田切土佐守養女ニ成
享保十二丁未年十二月廿六日病死　六十才
葬本門寺　号寛清院惜誉香膳

蓮乙

母　小濱備前守女

宗三郎

無妻

天和二壬戌年生ル

元禄五壬申年十一月朔日

常憲院様ニ御目見仕

文照院様御代

宝永六己丑年四月六日　西丸御右筆役
見習　井上河内守預被仰付
同年十二月十八日　御抱人被仰付　七尾
御務方願被仰付
享保十二丁未年十二月廿六日父病死ニ付
同十三戊申年三月廿九日家督被仰付
松平左京大夫預ケ被仰付　御右筆御務方
寛保元辛酉年九月廿九日病死　小笠原
伊豆守預ケ被仰付ニ入

同二戌年七月廿六日 跡式相違無之
中奥之御番被仰付
延享二乙丑年十月十六日死去 行年
葬所同寺 号 光心院殿林嶽常栄
右隆正時代小石川御屋敷[illegible]
為家ニ付 表武具奉行ニ被仰付候
青木[illegible]桜井家[illegible]
同家老[illegible]
[illegible]
元文四乙未年 八月九日 [illegible]

右勝次郎元屋敷[illegible]
[illegible]
一 隆正親類中[illegible]

利亮
母上同
享保二十丙年十二月[illegible]
隆正三男 利亮
[illegible]

茂正 小次郎
母上同
兄 隆正[illegible]
[illegible]八郎

正友　萬次郎　与八郎

母上ニ同

延享三丙寅年十二月廿七日

一ツ橋殿ニ出仕　小十人　被仰付

同四丁卯年六月廿九日出仕　大番

宝暦三癸酉年正月十日

於御殿不寝番

同六丙子年二月十二日死

葬同寺　号陽光院頓山洞雲

右正友ハ家督前ニ而無正友跡

安永八己亥年十二月十八日出奔　依之

此家御断絶候

女子

母上ニ同

年月不知　西尾隠岐守殿家臣　岩田又十郎

妻道ハ縁組仕候　後　嘉八郎方ニ居

宝暦五乙亥年十二月九日死

葬同　牛込　西覚山　宝泉寺

号　本覚院智照了定

茂平　　森八郎

養母　無之

実母　小野氏某女

妻

正徳元卯年十一月廿六日生江戸

元文三午年二月十六日出生子　部屋住

西尾隠岐守殿附候

寛保二戌年七月廿六日　御目見　其節

中務大輔殿附候　小普請　組入

同三亥年六月廿六日　被　仰付

同年十一月十六日

刑部卿殿　松平　殿附

延享三寅年十一月廿四日

御附　人　附

明和元申年十二月

刑部卿殿　逝去

屋形　殿附　松平　殿附

同

天明二寅年七月十二日

殿附

同年同月廿六日死　六十八
葬同寺　号玉岑院洞山浄水
一　寛延二己巳年九月八日　同苗内蔵助弟分ニ而
養父家督相続　高九拾石　五十一歳ニ而
御勘定役　被仰付　勤之

正英（初名之義洪）　与次郎　　伝次郎
母家女
宝暦十庚辰年四月九日　跡目相続
惟住徳様附御用人仕
同十三癸未年九月十五日　新番組死亡

葬同寺　号良岳院月桂宗忠
友光　熊次郎　後伝右衛門
母家女
宝暦四甲戌年五月八日　小倉伴組今西
又兵衛孫　新兵衛三男　直光養子

某　母家女　早世　孫三郎
某　母同　早世　熊次郎
某　母同　早世　小次郎
某　母同　早世　兼之助
正恒　母同　慶次郎

御女子

長政　母家女

寛政四壬子年六月廿七日田安

右衛門督殿用人松平鐐太郎三男養子

長新妻子

女子　早世

母同上

政英（ユキ）　母同妾

延享四丁卯年十月十九日生ル居

長三郎

惇信院様御代

父蔵人惣兵衛正東嫡孫次男　右之依願末

常之介忠孝　養子惣兵衛ニ付願之通

宝暦十三癸未年十月十六日　願之通相勤

右之跡番被仰付候田安御中間組

明和五戊子年十二月廿日被仰付候

浚明院様ゟ御用人仕

安永五丙申年十二月十九日隠居被仰付候、跡

御切米三拾俵給勤御同心之儀下

御中役組小頭御組　御花中

同人之厩ニ取附候ニ付
享保二壬寅年父病死之上家督同年
跡目相續被仰付
寛政十戊午年永井大和守組ニ入
同十二己未年三月八日死去 年七十三
葬所四谷 号槐濱院花山居栄

一 天明四甲辰年八月廿六日 表御番所ニ於て
杉山権四郎小普請組頭横尾左京亮
御座所ニ而御對顔被仰付 同年十一月十六日
被仰付候

寛政六丙寅年八月廿六日 杉山権四郎支配
表御番所 小普請組頭 横尾左京亮
御座所ニ而御對顔被仰付
候

右跡式御取立ニ付組頭 横尾左京亮
御番衆 御目見被仰付
寛政七乙年 十月 御小普請入被仰付

某 母某世 平次郎

女子 母某世 母上同

女子　母家女

女子　母右同

勇治郎

政住　母家女

右者

寛政十一己未年六月六日孫同小泉請

出[illegible]部[illegible]松平伊豆守殿[illegible]

弓武台儀

本国　三河

生国　武蔵

寛政十一己未年

表御番所

[illegible]勇治郎　十九

（花押）

中立売小川東へ入
[illegible]荒物[illegible]

す
[illegible]

京[illegible]

板木
千本下立売上ル
坂田[illegible]

大西屋[illegible]
[illegible]

穂積

鈴木氏

人皇八代孝元天皇御子欝色雄命孫胤鈴木治郎定善十五代

三河ニ寄住鈴木日向守重教

苗字同　紋 同心

合紋之　紋 稲穂之丸

幕之　紋 蕪之丸

家紋之　紋 蕪之丸

替　紋 稲穂之丸

鈴木治郎定善十九代

定長　七右衛門

定勝　源六郎

尚時 御小性組 右源五郎中組 鈴木金十郎

勝蔵 御徒 先組 鈴木金十郎

勝蔵 御書物方

定道　伴八郎

女　早死

妻　早死

年月日不知生ニ付届
嵯峨有院様御代年月日不知七之丞実長
此次男新紀ニ不知作聖郡之條
之ニ至大田書写本来不紀ニ写書文
ニ付付合ニ御系図姓名不知
右写書不知
寛文五乙巳年七月廿八日年不知病死
四谷久保町東長寺ニ葬
法名　天光院本空源源
年月日不知牧年辻大番所起

男坪源領作

定敬
作之丞
母不知
妻不知
生ニ付届年月日不知
嵯峨有院様御代寛文五乙巳年月日不知父
至迄御戒名至分ニ御系図姓名
不知小普請入御姓名不知
年月日不知大田書遠山ニ御紀ニ

此書入之 伊賀之儀従御代官書出之
年月日 無之候得共 初而書付
入之候ハ中根大隅守能成
方書載無之
元禄八乙亥年 十月十二日 六拾八歳ニ而
病死仕 葬地同所
法名 独寿院踈桂月心 踈

忠雄 半七郎

母 不知

貞享三丙寅年 三月 廿八日 大御番

遠山之儀氏組頭木俣之助宝敵方之蔵

忠雄 半七郎 初 作十郎

実母 不知

実父 浅井作八郎宝正営男

実母 不知

妻 大坂御代官内山七兵衛永貞女

実父元寿 廿年二月 廿八日 生ニ候

常憲院様御代 実父 浅井作八郎宝敵男子 正也

宝永 十一 二年 以 大御番 仕面候

貞享三丙寅年三月廿七日本郷ニ而
明之六八日初而御目見出生ス 依
松平[illegible]守殿 依御沙汰遠山[illegible]殿御沙汰ニ
元禄八乙亥年七月十二日 出生父重敵
病死ニ付 [illegible]同月廿二日
病死依而 同年十二月十二日 出生父重敵
跡式[illegible]
依御沙汰小普請組ニ被仰付 [illegible]
同十三庚辰年六月[illegible]大番[illegible]
入ニ[illegible]

享保十八癸丑年十月三日 秋元[illegible]
組之節 老中 跡式無相違[illegible]
ニ [illegible]
ニ依御[illegible] 小普請組[illegible]
[illegible]
立番数年

享保十九甲寅年六月十二日 七十四歳
病死 依之 葬地同寺
法名 廣徳院観翁[illegible]

政辰 忠兵衛 七左衛門

養母　中山七左衛門永貞女
實父　讃岐國住　右跡源之丞政方男
實母　不知
妻　鈴木甚右衛門安雄女
元禄二己巳年五月朔日　生讃州
右従源保御代官養父忠雄從太田宗某植村左膳
組与力男子ニ而被仰付改名年
寄ニ付召抱
享保九甲辰年六月廿五日旧役ニ付
同年八月廿一日御遺跡家督之後ニ付

岩小野和泉守殿ニ付源申付長郎
植村左膳大坂在番之節同番被仰
付候由候
享保十二丁未年二月廿八日
右従源保　御用ニ付
同十六辛亥年十二月廿九日　鈴木ニ依之
之　右為大御番松平能登守組ニ罷成
ニ　役付ニ付被仰付候
候ニ付候名字
同十九甲寅年　九月十六日　養父　忠雄

病気仕 同年 隠居
其後酒井飛騨守組与力被仕
在番勤之
寛政五丑年七月六日 六拾三歳ニて
病死仕 葬地同所
法名 浄厳院潭了宗山乾

女子

大御番
酒井飛騨守組
鈴木孫七郎長女

母 同上 不縁母

次郎武

半次郎 七之助

母 鈴木孫七郎忠雄女

妻 石川御普請方
三田新四郎 実源女

妻 小普請組
秋山源之丞 源寄女

宝暦三酉年九月二十六日 生江府

厚信 源次 寛政五丑年十月九日 父

跡式 源次 無相違 拝領 被下置

同年 小普請組 被仰付 寛政 相勤

宝暦八寅年十月 拝年 拝母

其紀之郎 大御番 大岡 組 相勤

同年 御目見 相勤

同七辛巳年九月十六日小普請入ニ成
同年十二月廿二日小普請組入　被仰付
候同所ニ而病死
明和四丁亥年四月廿三日　右高家女
子縁組　右同大久保主膳正組ニ
小普請入　被仰付阿部主膳殿ニ御預ケ
安永四乙未年八月十六日病気ニ付
小普請組入　被仰付石河土佐守支配
天明八戊申年四月十六日曲淵甲斐守
支配御広敷番ニ成

同年八月十八日七十六歳ニ而病死葬地四谷
法華　西福寺中　金應
宝暦八戊寅年十一月廿六日小普請組
松平新田右衛門支配　中也次右衛門
屋敷　小石川白山御殿　折町
手前ニ而屋敷　相対替　通ニ付
其ニ付ニ付　同人中御
三年六月十六日小石川換替町
仰　知行ニ　御鏡　拝領　替　諸
書物　焼失　住居　候也

政徳　金之丞
母　鈴木平四郎某雄女
寛延二巳年十月十七日　小普請組
川勝右京亮支配之節平次郎政勝家督

正久　藤治郎
母　三田藤之丞守保女
延享四卯年九月廿日生
明和三戌年五月二十二歳病死
菩提所同前　某寺　葬

常友　彦三郎
母　同上
安永戌年九月十二日病死候

政喜　恒五郎
母　秋山源之助政常女
妻　小普請組内藤甲斐守支配　山田与十郎治凰女
明和元申年十二月十七日生
天明八申年八月十七日父政武
小普請組曲淵甲斐守支配之節病死
天保年十八日病死候

同年十二月　父政武　病死跡式
私江被下置旨丹波守殿以被仰渡
其時小普請組内藤日向守支配成
寛政四子年九月廿五日　御番入
ニ組入候所　小普請一統
御目見仕候

同十一己未年五月廿七日　右組支配
ニ付　大御番　酒井若狭守組江御番入
被仰付候旨戸田采女正殿以被仰渡
右書付差上申候以上

政典　母同上　泰次郎　後改鳳　廿
政倚　母同上　米次郎
政穀　母同上　富次郎
女子　母同上

右之通御座候以上

高弐百俵

本国 三河
生国 武蔵

拝領屋敷 小石川築地柳町

寛政十二庚申年二月

鈴木恒五郎 二十七歳

未十二月
家督被仰付 隠居

家譜

すゝ袖

祖父
五六歳 七百〇 増田

小普請組 御支配 鈴木平馬

穂積

鈴木氏

清和天皇守仕鈴木氏延於紀之故

二十二代紀氏藤白之住人鈴木

三郎重家より三十八代之後胤

幕府之後稍穂之苗裔藤原之氏。

家之紋 旧より

割 紋 丸之内梛葉本遠

鈴木三郎重家三十八代

重次

市郎右衛門

母 縫殿家臣 蓮級岸右衛門 女

妻 千人氏 河野小兵衛 女

生 年月 日未知

前名 市右衛門 後ニ 正右 年月 日 英

御切米銀百俵ニ被下置 御番調之

御小姓

寛安口云々

岩右衛門様 御代御番入ニ 御代 年月日不知

先手 加役 横山藤兵衛 支配

御役御勤

延宝七己未年 八月 九日 年 卒

病死仕 市ヶ谷 長延寺 葬
法名 寿洞院一極徹心

某後 市之丞 初又四郎

実母 河野小兵衛 女
実父 千人同心 宮浦田蔵 悴
実母 千人同心 志村勘兵衛 女
妻 大御番 松平長兵衛 女
生所 年月日不知
家督前後 林 作代 実父 跡 市之丞 相続仕

御代年月日不知 実父跡式 被
下置年月不知
延宝九辛酉年二月廿六日 大御番
御番入 御代官 相勤
享保六辛丑年月日 三御 御役料
御代官 御役料 御増之 御留
御代官
同年九月十八日 病気ニ付 時服 被
翌七戊年九月廿九日 時服 被下候 仕
以下年 御用 相勤

同九甲辰年月日不知　老衰被遊
小普請入ニ　御付未相済内ニ相成
享保十三戊申年九月十九日病死仕
年不知　葬地同前
法名　了光院道範清花

茂光　実父第二名　初源六ト

実母　杉本長兵衛女
実父　庄田勝之進次男
実母　千人同心　志村又兵衛女

妻　実父　字緩女

生江府年月日不知
右依遺孫御代祖父常行家督御目子
屋敷相續　續ニ以前祖父常行
家督　御年実家先祖被遊ニ
御目見年月日不知
享保十三戊申年九月廿日家督
病死仕　同年月日不知実父跡式
ニ而小普請組支配ニ相成
大嶋氏　支配

同二十乙卯年正月十六日大御番
松浦出雲守組より小普請入 後依
寛保二壬戌年正月 堀田出羽守組
代々御免
同年八月十六日 甲寅二條表より
病死 仕京都出水寺町 光清寺葬
法名 慈照院隆月 道光

女子
母
嫁 光妻
母 松平長兵衛女

繁茂 百助
母 鈴木平兵衛重信女
実妻
生国年月日不知
有徳院様御代寛保二壬戌年 十二月廿五日 父
跡式無相違 丹後守殿 於御
小普請組 北条新蔵支配
延享元甲子年 十二月十五日 同所
十次郎 支配
寛延二己巳年五月六日 今田 宗女

右助之節　大御番之内御座候　組々
御番入仕候
同三戌年十二月　野々久留御供候
組ニ相成候
宝暦五乙亥年八月廿六日　年六十病死
葬地同所　安海寺院　本通寺

晩暁（アキ）　理之介　和輔子
生母　云兵衛二條四郎兵衛
実父　久留中務郎　明

実母　大御番　竹居所
小林長之介雄女
妻
延享元甲子年六月廿一日　生　御紀
私実父右治郎儀　大御番久留御
仕候節　組之節　病気ニ付
男子無之ニ付　母方御使ニ付
理之介儀　養子仕候
宝暦五乙亥年　八月十四日　実父
理之介病死仕候
同年十一月廿日　御番入　実父　組式

ニ付並ニ実子無之ニ付養子ニ致し家督相続し
小普請組田中　若狭守支配　…歳
明和四丁亥年四月十二日　弟…右膳
右膳…郎　大御番戸田淡路守組…之
弟ニ而　御仕…板倉…組…郎
同六己丑年…月…日…跡…
小普請組　御仕…新…郎　内…
御…之…相続
安永三甲午年…月…日病死仕
就…小普請組入　御仕…水野

養子ニ致し御…続…歳
勝田安藤…郎…
寛政元己酉年…月…日　…六歳
病死　葬地…
法名　…院…源

隆好　…

母　小林長蔵…孫兵衛女
妻　…安房守…伯耆守女
明和四丁亥年十二月廿九日生江戸

父 理左衛門 小普請組勝田安芸守
支配ニ而御
寛政元己酉年五月三日病死仕候
同年七月廿六日父跡式被下置候
寄合丹後守殿ニ而被仰渡候時小普
請組勝田安芸守支配ニ罷成居候
支配同十戊午年十二月五日 被仰
頭河野支配ニ罷成
屋敷拝領仕 年月不知
拝領屋敷小日向築地ニ而御座候

女子
寛政八丙辰年十二月嫁娶為致
嫁仕
小普請組戸田中務少輔支配
本多喜次郎 一給貰妻
母 小林長兵衛秋雄女

悴
幸之助
母 井関正左衛門女

右之通御座候 以上

一　高武石儀　本国　三河　諸氏安之組田所杉橋

生国　武州　二郷半領坂下住宅住

寛政十一己未年

鈴木平馬　三十三歳

未十二月九日
増田三勝介当

鈴氏
平七殿当　○　増田豊前守

奈倉

す　穂

小普請組
増田三勝支配
鈴木半四郎

穂積氏
鈴木
先祖鈴木孫市郎重之
元和三巳年 召出 甘楽郡 鈴木三郎右衛門家
弟鈴木七郎右衛門 紀伊殿御代々
右衛門 孫 全 御年 同代三郎兵衛並 鈴木
右衛門仕 鈴木孫右衛門 孫々 改 右 河原
右衛門 孫 乱 御 原 三郎右衛門
右衛門仕
宮恩様

権現様 御仕 数 御 一 家 後
原 之 改
天正十三乙年三月 之 城 攻 附
敵 三 七 人 討 取 首 級 討
原 之 嫡 男 七 郎 右 衛 門
権現様 御 様 御 勤 関ヶ原 御 供 仕
右衛門 御 氏 名 右衛門 長
権現様 御 代 大 番 御 勤 大 坂 御 供 仕
台徳院様 御代 之 御 勤
元和七辛酉年 御 頂 戴 知 行 高

於葉松村死
葬同所淨牧院
此家當時大小番某為從弟繼跡末
今年蒙
幕之紋　丸之内柳之葉ニ而透
家之紋　稲穂之丸
替紋　同前之丸
名某　重長之男
重親――――中之介
母不詳

小普請之戸田七之助組佐藤孝之助女
寿
生之別
大猷院様御代
某年月某日中人組之　百五拾俵
賜之
某年月某日　御納戸御番　御切米某俵
延宝三乙卯年某月某日死
葬市ヶ谷長延寺
号一翁長徹

朝勝　十之丞　初助十郎

母上同

妻　二ノ九　林氏　小出七郎兵衛貞勝女

生江戸

延宝三乙卯年七月十三日於同小普請

大番　安藤某組へ

元禄二己巳年二月廿二日大御番中根

大隅守組へ　御小姓組　[illegible]

同十六癸未年六月九日[illegible]組[illegible]

御徒頭[illegible]内藤[illegible]組へ

正徳元辛卯年四月廿九日小普請組

松平伊賀守組へ

享保十七壬子年　十二ノ廿二　名跡[illegible]致仕

隠居

元文三戊午年七月廿六日死

葬于同寺　号　[illegible]法林

朝正　初十郎

母

妻　小出七郎兵衛女

[illegible]

[illegible]女

宝永二乙酉年正月晦日生江戸
享保十乙巳年十二月廿六日家督相続
右之節被仰付　小普請組入置候
支配之入
同十九甲寅年五月十六日大御番酒井
紀伊守組入　右御番頭組之内
寛保三癸亥年正月十八日小普請組
大嶋雲八郎支配之入　右同組之内
明和六己丑年六月十二日死　享年六十五　葬下谷
同寺　号翻雲院樹山光本

女子　母家女

女子　母上同

朝久　文吉
母　菅沼藤右衛門女
妾腹
寛保三癸亥年四月十六日生江戸
明和六己丑年九月廿三日跡目小普請組
右同組支配之入　松平右京亮殿付

安永六丁酉年四月十三日小普請組被仰付
成瀬主税 跡取
天明五乙巳年九月六日死 四十三
葬本因寺 号万忠院義貞道哲

一 明和九壬辰年二月廿四日跡続付

義見 三浦左膳 跡取 名三楽
母上同
宝暦十庚辰年三月廿五日 小普請組
松平新五左衛門支配 三浦藤次郎義方養子

豊昌 園又三郎
母上同
宝暦十三癸未年十二月廿五日 小十人
新庄織部組関孫五郎左衛門豊久養子

豊正 中五郎
母上同
兄又吉養子

豊盛 乙五郎
母上同
寛政七乙卯年十一月廿五日死 二十才

女子
母上同

元禄三庚午年九月十三日死四十二

女子 母同
小十人頭井狩左衛門組 小幡五郎保武妻

女子 母同
小普請 長井門利十郎組 中條源八郎教房妻

女子 母上同

女子 母同

宣正 半三郎

実母 某氏
実父 小普請支配 御書院番 朝正四男
実母 菅沼某郎女
妻 清水殿附 西山平八郎某女
宝暦元辛未年九月十三日生於…
年月日 初御目見
安永六丁酉年八月十二日家督 小普請 …組
…
同八己亥年二月…山田切…入
天明元辛丑年…五月…水野…入

同六丙午年八月十三日部屋住ニ而死ス
寛政五癸丑年十一月十日部屋住ニ而死ス
同六甲寅年八月廿日部屋住ニ而死ス

市之丞 忠五郎
母家女
安永七戊戌年四月廿一日生
寛政元己酉年二月廿三日死 十二

主之助 市太郎
母
西山半八女

天明六丙午年十月六日生 出生
寛政五癸丑年十二月廿日死 八歳
葬同寺 号 某 信女

女子
母上同

女子
母上同

主税 吉次
実母上同
生母 某女
寛政十己未年
麻布 永坂 三之助 四十五
深川 某 五郎

五

未十一月九日
森川織部より

請取
手形三百両 ○ 塚田出雲守

す
總

京繕

小普請組森川織部支配
鈴木利三郎

穂積
鈴木

或傳曰孝照天皇御宇之年熊野人
龍巖基限之以新山峯崇
穂積氏之新宮垂迹之始穂積
二乘龍降臨千々尾峯移給次
奉幣同氏人于時漢司符將軍
嫡子真俊進出奉勅給穂積氏新宮
雲藤代明神ノ前於榎本積本給シ
賜榎本姓ニ二男基成進精子孫
飼饌給シ賜榎子ノ姓 三男基行
為御供進稲ヲ給シ賜穂積姓
以後嫡子真俊之孫号榎本 二男
基成号宇井 三男基行号鈴木
奉仕神社 桓武天皇御宇 異
賊襲来 帝召榎本宇井鈴木
於熊野人令追伐之 于時平賊
帝賞ニ軍功ヲ
宇井一曰鶏居 熊野 有穂居稲荷
鈴木三氏 掌ル礼ス 他書有宇井

豈不勝此説不虚 今按此説他
書不見 日本紀 旧事紀 姓氏録ニ
所載ノ 穂積氏 欝色雄命ノ後也
欝色雄命 孝元帝ノ時為大臣奉斎ニ
天社国社ヲ 別検此勧請可為此人歟
漢氏 投他 蓄 者也 司祭 於此ノ
名文 奇談 語人 好奇 故ニ 借ニ漢司
於此ノ 名混ニ 欝色雄命ニ 者歟 倫
参考

従五位内蔵尉言基
孫吾河孫入道
言基ハ言家ノ先也
霜ニ段乱ノ頃逃世 桐名称吾河孫
於此 紀列 遷下ル列 遠眠
其宿 術別 為列 無作 不幸ニ得
脚疾 滞在 斯所 此 館居城
之説 止下 命ノ志 在往参列 堂苑
也 郡ニ 積居 無業 御堂ニ 猿搭ニ
建立一ケノ堂 嚴於在テ今

又此後之名乃伝之依テ当氏家右之
但之系図ニ引一揆乱ニ付紛失ス是
当氏家滝頭代々同康子之系図、
先祖之代紛失仍之従基行
益行保前後至小民部之間
数代不詳

従猿之段　稲穂丸
幕之段　下藤丸
家之段　稲穂丸
同前段　下藤丸

高信——内蔵助
高次——孝之助
高利——孝之助
高恒——孝之助
高広——八郎兵衛

定頼　孝助

此家当時大目書役清兵衛子継ヲ致改姓

定勝　実子無之

常憲院様御代　母某氏

元禄十四辛巳年十二月廿五日　御家

御右筆江御取立被仰付

同月六日　御目見仕候

御役　十三年相勤

正徳三癸巳年閏五月六日死

葬所　小日向　深光寺

有正　伊織

母某氏

生母某氏

宝永戊子年十二月　御書院番

同六己丑年十二月十六日　死ニ付実子家督

正徳三癸巳年八月九日　御用小書院組

桂昌院様御附入　御上御用被仰付

松平八右衛門組

享保十二丁未年三月九日　二十人扶持

大番組入 享保十八丑年十二月廿九日

年月不知 小普請 久留伊勢守支配ニ入

享保十九甲寅年五月死

葬所 同寺

但 有之 実父兼書不知

正勝 ─ 六郎兵衛

母 小笠原某 六兵衛正勝女

妻 某女

生年月不知

有徳院様御代

享保十九甲寅年八月三日 跡目 小普請組

久留伊勢守支配ニ入 松平玄蕃頭組頭

延享元甲子年二月廿七日 西丸 小十人

小普請 佐々木又八組入 竹中孫兵衛組頭

宝暦四甲戌年四月廿八日 小普請組 頭

支配ニ入 六月 清水 出仕

同八戊寅年六月廿八日 西丸 小十人 組頭

地 組入

同年十二月廿八日 小普請組 頭 支配ニ入

酒井石見守殿御妹
明和七庚寅年五月六日死 年七
葬同寺 法名不知

正常 幸千代
　右京
浄明院様御代
明和七庚寅年七月四日 小普請組
跡式無相違被下置 松平周防守殿被仰渡
年月不知 青山大膳亮ニ而

[illegible]

年月不知 石河土佐守妻ニ成
年月不知死 歳十三
葬同寺 法名不知

女子
年月不知 西尾忠養女ニ成 其後 妻ニ
右ニ付

女子
中人 小普請組 柘植安房守妻
秋元某 妻

女子
寛政四子年 十月十四日 御小姓組 有馬
同年 十二月 六日 離別 但 御暇

重喜　[illegible]

生母　某女

実父　西丸小十人　石川治左衛門讓庸二男

実母　某女

妻　石尾某女

宝暦九年七月七日生

安永七戊戌年十月廿四日　養子罷成

同年十二月廿二日　跡目　松平右京大夫殿組

松平[illegible]ニ罷成へ

天明元丑年七月九日　[illegible]

二付　[illegible]

同年八月　被仰付　大番入罷成

同年十月十二日　西丸小十人　池田[illegible]組へ

松平右京大夫殿組

同二寅年十二月十二日　内[illegible]組へ

同三卯年十二月　小普請組　永井

[illegible]罷成へ　[illegible]

天明[illegible]元年　人[illegible]

寛政九乙年　[illegible]

覚　利三郎

安永九子年四月十六日生ニ而御座候

寛政九巳年四月十六日親類小普請組

被免年八ヶ月被召出

同十午年八月十二日寄合鉄炮方被召出

同年九月十九日御上大納言様御入

右御書之儀

本国三河

生国武蔵　孫(?)飯田(?)...

寛政十未年十二月

鈴木利三郎　二十

(花押)

未十二月晦

御老中様御目付(?)

御普請(?)

■■■■ 二番

□　○

先祖書

す　御(?)代山田(?)

御老中様御用達

鈴木一学

先祖書

苗字姓　　家紋　何ニ候

替紋　丸之内ニ三ツ巴　三ツ

本苗　鈴木　幕之紋　右ニ候

当苗　山田　丸之内ニ三ツ巴　三ツ

鈴木三郎　重次浪人　山田八郎兵衛　重道二代之孫

山田精兵衛　子孫無代

一　嫡祖　本国　三河　山田三郎右衛門　重正

　　　　　生国　武蔵

　　母　本苗　関口織部女

厳有院様御代新規被召出大御番ニ被仰付候

年月不知

常憲院様御代ニ成候而　御小姓組番ニ而

廣安元戌年月日不知　拝領御殿ニ而御附御組頭

相勤同年壬辰年月日不知　御納戸役ニ被仰付候

元禄庚辰年月日不知　御小納戸ニ被仰付候

右依而病気故　相願　十三年亥年月日御役

御免元禄年七月　鈴木鶴之丞殿依而　御絵図

正覚寺ニ葬　此家筋ニ而附ニ而御定　山田大吉

重用ニ而候

　　　　　　重正　二男

一　初代

　　生国　武蔵　　　鈴木一学　重方

　母　苗字不知　　小田切主水　光橋女

右忠林より御目見仕 右寿山江 先祖ゟ奉
来り如斯ニ候 右寿庵 信之 御暇 名乗申候
厳有院様御代 寛文二壬寅年 前々之通被召出
御鉄炮新規ニ 召出 御小性ニ 被仰付 御切米弐拾俵
ニ而 年月不知 御番入 被仰付 山崎七十俵
組ニ入 延宝八庚申年 月日不知 病気ニ付 [illegible]
小普請入 被仰付 御番御勤定 名世伊予守
支配 [illegible] 天和二壬戌年
七月廿六日 病死 仕候 年不知 法名 妙法蓮
江戸 葬 本妙寺
童寿 町医師 今井寿仙 女

同人妻 浅井 右[illegible]
童寿悪 [illegible] 一字
生国武蔵 [illegible] 童安
一 二代目 母 今井寿仙 女
右[illegible]父一字 [illegible] 御暇[illegible]
年月不知
常憲院様御代 元禄三庚午年 九月 [illegible]
小普請入 被仰付 [illegible] 元禄 [illegible] 年 [illegible]
九月[illegible] 御目見 仕 天和 [illegible] 被仰付
同八乙亥年 十一月 [illegible] 被仰付
宝永七庚寅年 十一月廿六日 病気ニ付 小普請入

亡任　松前伊豆守組え　享保乙巳年　八月　六
小普請組安藤主膳支配ニ成　同十三戊申年　晋
其後石谷備後守支配ニ成　同十五庚戌年　五月廿六
病死　行年　六十二　法名　道源日進　葬　本所要ハ

室妻　松平豊前守家来　中野新兵衛吉昌女

同人妻　深津某女

一　三代目　　室妻腹　生國武蔵　鈴木一学孝則　初　平馬

母　中野新兵衛吉昌女

有徳院殿御代　享保十五庚戌年　八月六日父跡式

継　御番入　松平伊賀守組ニ仕　御番　小普請組支配ニ成
無役ニ成　同年九月廿六日　出仕入組ト
小普請　仁八組ニ成　文三戊年　年六月十六
御番入　石河組ニ成　元文三甲年　六月廿六
鈴木右衛門組ニ成　同人組ニ至　同三日戊年
八月八日　病家督継ニ　小普請組　御付籍在
同弐年ニ成　同年十六月十六日　病死　行年　四十八
法名　慈林院　日進　葬地同前

孝則妻　小普請組大嶋備前守組與力　宗保　伯母

同人妻　佛木ニ有シ

同人女子　小普請森川組　町野十兵衛後家

同人女子　同　本多修理組　関谷治左衛門妻

同人女子　無足人

孝行無之

一　以後同　生国武蔵　渡辺半右衛門孝順

母　奈良但馬守娘女

惇信院様御代宝暦二壬申年十二月廿七日御

御暇被下小普請組　石川由右衛門支配十人扶

江戸五十人組御書付被下候御咎

以後浚有院様御代安永八戊年十二月

十二月父一子継承同人又亥年三月父跡式之内金

代々高弐拾俵等被下候

上年同七丑年九月十五日実家宅地之事

於年本部之御書付八木十郎御支配

其後支配代定納之寺年十二月十日迄

於若年記之節御地頭支配御年四月廿三日

於部仕年七月一日此迄月葬地候事

孝行無之

同人嫡子

同人次男

以上

渡辺半右衛門

山田五郎　申渡

右与市郎儀私儀亦太郎嫡子ニ　御座候
出生仕候処病身ニ付少之人柄ニ相成候ニ付山田五左衛門殿
出家仕候處安永七戌年寿ト申
相成其後子ニ御座候　御目見仕候ニ付相願
相果申候

一　同人女子
私伯父亦太郎儀男子無御座候ニ付私妹相嫁
相成候ニ付私養子ニ仕度相願候
明和七寅年四月十六日病死仕候
右女同年十六歳

一　三代目　高祖父　某
養母　病死
実母　某女

鈴木六郎右衛門嫡子
鈴木伝右衛門養子
金沢清右衛門姪
鈴木一学安則
未二十八歳

私儀
御代官様御代官鈴木市右衛門支配之所
嫡男子無御座候ニ付私儀母方ニ付
相続仕度相願候処明和七寅年九月
廿八日御目見仕候ニ付御知行
御切米被下置御書付頂戴仕候

寛政七卯年十一月十日市之丞跡式被下置
御小姓組ニ被仰付 御番頭 松平
伊豆守殿組ニ御番入仕 文化十二亥年 小倉伊勢
守組ニ成 同七午年九月 御書院番頭
一統 御目見仕 同八丙辰年十二月 任
布衣 于時 若年寄 安藤対馬守殿 御上之間
世話取扱助被仰付 勤功御褒美 御目見
御小姓組 布衣 中務 同年十二月 同 御用
世話取扱 掛り 元組頭 被仰付 御書院
御役方 十人 勤功 御褒美 被下置
小姓組番 御 布衣 中務 同十戊午年九月廿二日

御祖父様御目見仕 仕候 安藤対馬守殿ニ御座候
私儀寛政七卯年 四月廿一日 御目見
上野之助殿 被仰付

妻
松平 当年 御座候 清林 妹

悴
跡本八 御座候

女
壱人

右之通御座候 以上

寛政元酉年十二月

御名様御用達

鈴木一学

未十二月御
御留守居へ
出

荒木氏
年寄九十四歳 ○ 堀田豊前守

先祖書

荒木氏
す 貞享二 御暮年氏
来りゐ

御名様 御用達

鈴木弥市郎治

先祖書

本国姓　鈴木

家紋　稲丸
門紋　同断
幕紋　同断

一　元祖　本国
　　　　　生国　若狭

鈴木三郎兵衛正久

右三郎兵衛正久儀伊勢出生仕候而罷出

台徳院様御代元和四午年ゟ召出御蔵米人扶持

正保元申年御役御免相勤候病死仕候未年

十二月死去相果　空心禅定門　芝光明寺葬

　　鈴木三郎兵衛正久妻
　　鈴木某女

一　初代　生国　武蔵
　　　　　母
　　　　　鈴木某

大猷院様御代寛永二巳年　月召出父三郎兵衛

正久跡式相続仕　御蔵米御役近習八申年　月召出

御家御扶持人相勤

御番様御蔵米組仕候　御役組並被仰付

以人扶持被下置　貞享二丑年　御番頭

厳姫君様御用相勤候付御役御免

御扶持被下置元禄十五年　以下

常憲院様紀州様へ御成之節 御能之様狂言御取
常憲院様へ 御目見之仕 元禄十三年十二月 御姓名被下
御目見之 被仰付 翌巳年元日 登城仕
常憲院様年始之御礼仕 同年正月
常憲院様 御機嫌之様子為御伺
御能之節 谷 御能年始 御役 被仰付
常憲院様 御供御座年月 結構 御拝領一生 被仰付
御能之節 不束 御能之儀 御代 仕 永々 元禄 年
閏月十二日 御能之様 御遊之節 一同 小笠原
松平 様 改名 宝永二酉年 病気
御 願 宝永 同年 七月 日 御暇 願之通 隠居

此 被仰付 御能 之
又来年 同月 死去 廣林 御紋付 同寺 葬

宗義妻 堀 地蔵宗剣女
同妻 傳 法名 布し

一 二代目 蘭 某
母 宗剣女 法名 七左衛門 新十郎 宗連
法名 休
常憲院様 御代之様 八 年 御 役 被仰付
仰付 七左衛門 宗 改名 同年
十二月 同 名 勤 御能之 御座 仕

昌貞儀ハ　依願ニ付　新附ニ而　和光院学頭
申渡置候処相勤申候元禄十二卯年十月ゟ召出
常憲院様ゟ　御被召出　高五拾石被下置
下置候ニ付候事
露姫之様　御附ニ而　兼て勤候ニ付
常憲院様へ　御附被成候ニ付　御附被仰付
露姫之様ゟも御附被成候し御加増被仰付　中年
御自分　露姫　之様御迎之出御附　一同
小普請ニ而被召出　御附被仰付　宝永二酉年
七月　御免　父　甚兵衛　出府御附　隠居ニ付　御附
之事　御切米　御預ケ　相勤候

祖父附小普請組相勤申候　是以其後勤役
京都ゟ　享保八卯年十二月隠居　仕候後
享保十四酉年十二月　被仰付　隠居　御附
水野和泉守殿ゟ　享保十七子年六月　死
浅草　知足院中　休和門前ニ葬
室　連妻　御附　富永　来山長右衛門女
同　無之　　竹本長左衛門実悟
先祖之儀者　御預ケ　無之候
寛文二巳年六月　死去　浅草　休和門ニ葬
同　次男　無之　　仕官不致候

一　三代目　某　御免

諸木彦十郎章道次男　初名
諸木一学章恒
母　某長兵衛女　改名傳之

有章院様御代諸木彦十郎章道儀杉本(?)相果候ニ付
之無御座長兵衛病身ニ付一学儀跡目之儀如願之
被仰付正徳五乙未年九月十八日家督被仰付　当年十三歳
其後追々御用相勤候ニ付其上御用相勤候由
其節ハ杉本同役中ニ候ニ付其後小普請組
内蔵家女　享保八卯年十二月朔日
其後追々相勤候ニ付一学章恒ニ家督ニ付
御家中諸郷諸々出精相勤候ニ付

御文(?)内蔵家女ニ嫁(?)享保十乙年　其後小普請組被仰付
之節ハ享保十乙年十二月朔日御切米被下置
其上御褒美被下置　御目見被仰付　享保十一丙午年
三月　十一日　其後御役目之人ニ被仰付　御広敷
御用相勤候ニ付其上御目見被仰付　御番入
御小普請組御頭支配　其後御番入被仰付
其後御役御免之節　寛保三亥年　御目見
御近習役被仰付候　御番御免被仰付　其後
御番御用相勤候ニ付　二亥年　九月　御役御免
御相続御役　御役御免　御目見被仰付
御代同様被仰付　一学章恒儀　父同文

常憲院様御代御納戸御役相勤申候 何年当御扶持不
之分 元禄御役延宝元年十二月御加増
同月 御目見 御納戸 相勤申候 御役
辰年 正月 御役 御 御勤 仕 其後 相勤申候
宝永二年 六月 常憲院様 御 御 御
仰付 御 公儀 御 其後 御 御
手 元禄 去年 御 御 御役 御 申候
宝永年 十二月 御 御 御役 御 御
享保 年 御 御 十二年 四月 死
七十二歳 英徳院鐵行良雄 葬同寺

室 某妻 草山 道悦 娘
同 惣領 清兵衛
同 次男 清木 次郎 御 負
享保九辰年 七月 御 御 御 御 清木
久兵衛 養子
同 三男 清水 喜祥
宝永十七年 十二月 御 御 御
同 女子
大河内 御 妻

同女子　田安大番　三田源兵衛光長妻

出生仕候年月相知不申候

浅井一学　改名　浅井七郎右衛門高道

一　二代目　生国武蔵

母　山田氏　手代清水牧右衛門女　浅井源右衛門悴

惇信院様御代浅井一学家督継花蔵院右衛門

御広敷寛保二戌年十月廿五日初而御目見同年十二月

廿九日家督被仰付　御番七分金高道と申候

少々相考元文殿と宗旨小普請組ニ罷在候

組ニ罷在同七丑年二月

御本丸中奥御広敷添番ニ被仰付　御臺様御納戸

小普請　宝暦十辰年四月

惇信院様御供御広敷添番ニ被仰付　御同朋格被

吹上之後御広敷御用被仰付

中奥相勤同十一巳年十二月十六日

惇信院様薨御ニ付同年六月一日小普請入被仰付

其後御勘定組頭同

十二年四月

御先手御広敷御用被仰付候

明和二酉年四月十一日

十二月　日北条様中奥御小姓組　梅心院

一 祥檀祥御存生

高遠ニ 小笠原右近代 御在御家来 近侍女

同妻女 但武ニ而死

同女子 遠山寛林 小笠原為 祥性院 御国田 法利姉没

同女子 若年ニ而死 光法 御寺住 法利姉没

一 西域月 生国 遠藤 義子 源本家御家 春祥

義母 御在御家来 近侍女

実父 源本 一字 院性 源男

実母 同道寺 年山隆性 御侍女

源明院様御代 寛文三年 十二月未 秋元 但馬守 被

仰付 御預 田中 御城 御加増 二万石 十一月 十日 御勤 東

御老様 御屋敷 御同 御出 御仕 御預 御屋 被 御源 元

御老 若 御加増 同六年 十二月廿四日 御加増

松平 若 遠江守 被 仰源 一万石 安藤 若 御仕

同 八ケ年 八月 十日

御老様 豊前 同年 十月 御老 御源 御在

松平周防守 被 御仕 新 御加増 御元 三万

延宝元年 八月十一日 御加増 御道 御仕

水野出羽守殿江御届同六午年九月
御代替ニ付御目見ニ罷出候ニ付同年十月差出候
由緒書ニ相記候

春梓妻　　家女

同 悴
寛政三亥年九月二日死　　鈴木玄意 春徳

同 悴　　鈴木三悦 玄貞

同 二男　　鈴木徳三郎 輝久

同 女子 御奉公　　堀北玄 加内妻

同 嫡孫 兼祖
寛政三亥年十月親ニ先達而死
右者春徳悴 鈴木宗吉郎 久

元ゟ三悦
当時 本家 御奉公
養子 勤 相勤

寛政十一己未年
鈴木玄貞 七十二才
右悪人

四

未十二月毎
仙台府学へ出

原譜

前ニ代
手当丸[illegible]之[illegible]○
[illegible]田[illegible]

す
安永庚子十月
[illegible]之[illegible]定

小笠原[illegible]仙台府学[illegible]
鈴木清[illegible]清

本国姓　鈴木　本国近江

大織冠鎌足二十代後胤四郎兵衛正久三河国富田
村ニ居住承応年中迄

家紋　　丸ノ内ニ本ノ字
替紋　　結稲穂
幕紋　　丸ノ内ニ本ノ字　結稲穂

正久
某　─　名乗不知　通称四郎兵衛

神君御代々戦場御供大坂御陣ニ御供仕罷
在の後病気ニ付三州富田村ニ引込其後年月
不知病死仕候右御戦場御供相勤候儀委細
不相知候明暦以前之儀焼失仕候

童名　─　鈴木清兵衛
母　某人　・　鈴木氏某女
妻　不知

出生年月不知三河国富田村ニ生　寛永五年
右母方ノ苗字鈴木ニ相改
台徳院様御代元和八戊年月不知御徒ニ被召出
同年相勤寛永二乙丑年　御徒目付ニ被仰付候

御加増ニ而 年月不知 下谷 広小路 町屋敷 拝
子孫弁ノ為 御納戸組頭 二十八年 御勤
寛安二乙丑年二月廿八日病死 歳不知 法号
右新町寺 本誓寺 葬 法名 清浄院 釈浄休

重福 三郎兵衛 浅草判 一歩
母 不知
妻 不知

元和二丙辰年月日不知 江戸ニ生

大猷院様御代 寛安二乙丑年 月日不知 父跡式 御 徒 被仰付
ノ上 明暦三丁酉年 正月 下谷 広小路ニテ 焼失

厳有院様御代 万治元戊戌年 十二月 御勤定 被仰付
父跡式 御目見 被仰付 延宝年 御加増 被下
右勤中 御 代官 御目見 被仰付
利 之 御 加増 大御 代官 右 勤 被 年
御代官 御 勤 延宝年 御 勤 寛文九年
丑年 御代官 御 勤 定 被仰付
同二 年 不 御 勤 御 役 被仰付
御 役 御 代官 被仰付 十六年 相勤 候
御 役 七年 御 勤 御 役
其後 病 死 小普請 入 世 相勤 絶
元禄十一戊寅年 十月 下谷 広小路 七軒町 拝領

御部屋住より立 加判 御代 様御相詰 本丸
表門向 手摺 六許 余 有前 御仕 相定 より御目見
元禄十六癸未年 對面 組 被召 [illegible]
御かしれ同年 十二月元服 中 [illegible] 被仰付
一集 被成 宝永五戊子年 二月十四日 病死
九十三 菩提所 葬 [illegible]院 [illegible]

章任
母 清光院 某氏
年月日不知 生

常憲院様御代 元禄十六癸未年 十二月十四日 父之跡
部屋住 被召出 御小姓 相勤 被仰付
御役 御對面 中 御用人 組 被仰付
有章院様御代 大久保 [illegible] 組 正徳三癸巳年 六月
[illegible] 被仰付 安藤 [illegible] 組 [illegible]
享保十一年 [illegible] 八癸丑年 六月十六日 病死
年 [illegible] 院 [illegible] 葬

章睦
母 某
十五歳 不知 某女

天和元辛酉年御同所ニ而出生
常憲院様御代父清兵衛養子ニ而御広敷番頭大久保
伊賀守組ニ被召出續之儀茂御暮シ申上候
寛永五戊子年十二月廿九日御目見
中小普請父清兵衛享保八癸卯年六月十日病死仕
同年九月二日清兵衛跡式十二才ニ而無相違小普請
組之内ニ御座候様被仰付清兵衛跡目被下置候
享保九甲辰年二月九日御広敷御番入被仰付
御組頭之御達ニ付同十一丙午年十月寅参横網御蔵
番之子孫六郎ニ付同年同月長谷川平四郎
組代官之通有之御對面仕候長谷川御頭

米野源之丞組ニ而勤候十八年相勤寛保元辛酉年
三月廿日病死享年六十一才葬所浅草寺

邦教　若年　初是之助　清兵衛

母　某女

妻　某之女　磯田藤五郎長女
享保八癸卯年九月二日ニ而出生寛保元辛酉年
六月二十二日父清兵衛跡式無相違被下置候
小普請御普請奉行支配御目見同二壬戌年七月
廿六日ニ而御番入被仰付御広敷御番
無相違組ニ被成長谷川御頭御奉公相勤

細之義 明和乙丑年 正月十六日御勤定之 候付
其上通 御年寄ニ而 宝暦二乙年 十二月ニ而
御誕生御筆首尾ニ 候付並二通御被為
之上金沢 同六丙申年 同月ニ而
御新宗ニ候ニ 候付是ニ而 継後ニ而金 同年
二月廿八日 御供ニ 右郷名ニ而 生之 致候
ニ而是 御勝手ニ而 御目録ニ而 候付御供而勤

御名
御臣原 孝儀
右之年月ニ而 御料之皆 之付山本覚書ニ
組之卸 教讓請ニ而 而候ニ
天明八戊申年 正月十日 不死 御宮御内

ニ 候付 同年十二月十六日 去ニ 候付 寛永十
九年 御勤 寛政二庚戌年八月十六日 病死 享年九
上野 東叡山現龍院ニ葬 法名 元浄院
下遠大堂
右卸 教 御実御 記例流 若御 非並納
附記 候付

女子
母 新之助
母 春之助 鵜田忠文信栄妻
猪田唐之郎長唐妻

英策
母 恭次郎
同上

宝暦七丁丑年十二月十一日生　安永二癸巳年
十二月九日跡目相続之節初而
浚明院様江御目見、同八丙申年十二月廿八日浚
明院様御葬送之節、藝術出精ニ付、大御番ニ被
仰付、御代官並ニ出役(?)[illegible]御組被
仰付、松平丹後守組 御番 丑年九月十三日
於吹上御庭騎射　上覧之節、御馬 御紋付
同八己亥年九月廿六日於吹上御庭 上覧ニ
而騎射御褒美 御羽織二 同年十二月廿一日
相成、上覧之節、於吹上馬場一統騎射　上覧之節
翌十二日、御機嫌御褒美黄金被下

文化六年於勤仕中元丑年二月十一日病死二十八歳
葬同寺、葬号輝光院寂寛暉

女子
母　同
御勘定　何之
山田大吉重周妻

養女
実ハ土井伊勢守家来
[illegible]
鈴木清兵衛卯通妻
後　富田[illegible]昌之妻

卯通
初富五郎
後　清兵衛
養母　忠次郎長房女
実父　[illegible]
実母
坂田忠次郎長房女
山田[illegible]
實女

妻　卯教養女

明和二乙酉年五月朔日生　天明元辛丑年
十二月廿五日父清水家臣[illegible]ゟ縁組
寛政元己酉年十二月廿八日[illegible]ニ付
当代御目見仕　其節御太刀馬代献上仕候　同二庚戌年
八月廿五日養父清水家[illegible]　臨月ニ付
引越同月[illegible]病死　同年十二月廿一日父[illegible]
臨月[illegible]　於[illegible]
[illegible]
[illegible]

出羽守組屋敷ニ而　同七乙卯年六月十六日安藤[illegible]
組ニ而[illegible]
同年[illegible]月[illegible]
[illegible]
丙辰年八月[illegible]病死二十三歳　同寺[illegible]葬
[illegible]院[illegible]
右卯[illegible]
[illegible]

女子　母　卯教妻
嫡卯　母　同上
初力太郎　清之助

天明二寅年九月廿六日生 寛政八辰年
八月廿四日父隠居跡目被仰付 同月廿日御番入
同年十一月十日御役被仰付 翌年
御書院番酒井小兵衛組 御徒方跡
和流馬術 砲術 流 并 剣術 弓術

菜

母

恒吉

足

右之通御座候以上
高百俵五人扶持 東御番 居屋敷本所横網
寛政十一乙未年十二月
鈴木信之助 十八才

す 若州 享保十丈 一

菜屋

中
寅九八月 ×

若原氏
子八歳 九番 ○ 鈴木 有

御勘定吟味役
鈴木門三郎

藤原姓之内十傳

山田

先祖山田市之丞 名乗不知之初生

[illegible]村名不知 [illegible]右 [illegible]仕[illegible]

大猷院様御代仕[illegible] 子細不知

之後[illegible]無之[illegible]

山田市之丞ハ何代目ニ[illegible] 母方[illegible]

家[illegible]相続[illegible]

之筋不詳[illegible]

幕之紋 [illegible]

家之紋 [illegible]

但古代之紋ハ 梅[illegible]

[illegible]

山田市之丞ハ[illegible]代不知

[illegible]

両親

母 不知

妻 [illegible]女

年月日[illegible]

後妻 [illegible]女

桜田[illegible]

河野[illegible]女

正保元甲申年　十二月廿九日　越前国生
延宝九辛酉年　月　日
常憲院様御代　桜田御殿　新規ニ被召出
依之ニ而金　御勘定相勤　年月不知　御用
承候　被仰付　御蔵奉行　后年不知　病死
某甚
元禄七甲戌年　六月十八日　五十一歳ニ而
病死　江戸大津　東福山大徳寺ニ葬
法名　清珠院元利全貞

義成　三左衛門
母　御書院番組　山名治右衛門女
右三左衛門義成儀　母離別之後　懐胎ニ而
伯父三左衛門義成　并ニ被召出　住世之
厄介ニ而養父之家ニ住居　右親類共
離別仕候　通ニ而　右三左衛門承ニ
御家御番　伯父三左衛門　御書院番　御弁
右御組ニ而　被相勤候ニ付　御家督
相続被仰付　三左衛門義成　嫡子以

一 養子ニ罷成
元禄十四辛巳年 四月六日 利右衛門養子
ニ 御代官後藤庄右衛門支配所ニ而今ニ相済候

西辰

長次郎

養母　桜田御殿御広敷番[illegible]
　　　御広敷用人 河野孫三郎 娘

実父　[illegible] 菅野[illegible]利兵衛

実母　[illegible] 鈴木[illegible]

妻　養父 鈴木治左衛門 西辰 娘

貞享元甲子年 月日 生

養父治左衛門西辰 御勘定相勤申候 実子
御内[illegible] 男子 [illegible]
長次郎 西辰 [illegible]
元禄七甲戌年 六月十八日 病死仕候 年
[illegible] 桜田御殿 御賄 [illegible]
中 治左衛門 養父 [illegible] 西辰ニ [illegible] 如養父 時
御勤之候 御代官 相勤申候

文昭院様御代ニ而 [illegible] 御勘定

ニ 御代官 相勤 [illegible]

宝永五戊子年 六月十八日 二條 [illegible]

病死仕　江戸小日向[illegible]山[illegible]寺ニ葬

法名　清光院春巌良蘭

女子

野中長四郎正辰妻

母　桜田御殿御廣敷番頭
河野孫左衛門通好女

正精　伴内

母　[illegible]

兄長四郎正辰養子ト成

正精　伴内

母　桜田御殿御廣敷番頭
河野孫左衛門通好女

妻　御細工頭坂井将監同人
荻野助之丞養女

元禄五壬申年　月　日　江戸生

常憲院様御代長四郎正辰御勘定相勤候

病身ニ付男子無之ニ付正精養子

ニ相成是又養子仕候実親孫

宝永五戊子年　月　日　正辰跡式

伴内ト申ス宝永中　御当家ニ相

三拾俵被下置　右家督伴内

卯年ニ至迄七ヶ年相続ニ而留書役兼
仕来候処安永[illegible]依之
相勤御留守居御用相勤候
文政十[illegible]年右休年ニ付而御勘定
江被仰付御見立[illegible]
被仰付候[illegible]罷在候
元文二丁巳年ニ至迄[illegible]
大御殿御書付ヲ以御留守居[illegible]
[illegible]上地[illegible]
被仰付

同四己未年[illegible]御徒町中村[illegible]組
余之外[illegible]
同年十二月[illegible]
寛延元戊辰年十二月廿[illegible]
小普請入ニ被仰付[illegible]
江被仰付御勘定[illegible]
被仰付[illegible]
江[illegible]水野[illegible]組ニ[illegible]
相勤[illegible]
同二己巳年七月[illegible]組ニ

在役ニ
同二辰年六月十六日小普請支配ニ
御役被仰付 松平右近将監殿ニ於御宅
六月同断御書付同中出羽守殿被仰渡
候ニ付 右御内務方相勤候ニ付
同四壬未年六月廿日隠居家督被仰付
同年同月朔日隠居ニ 御目見
松平右近将監殿ニ而御達ニ
宝暦元辛未年十二月廿六日病死 行年
麻布小日向日輪寺ニ葬

法名清性院走誉貞精

正致

門之介

養母 新番岩田郷村瀬人 荒野郎左衛門春法女
実父 小普請 根岸六郎左衛門 御庭番吉清正安之男
実母 根岸六郎左衛門 御目付之清法女
妻 某

享保十乙巳年 月 日江戸生
有徳院様御代 御内証 小普請 御勘定御番衆組
延享元年 御小姓組 番衆 右御代 門之介

正毅事養子佐兵衛跡目相続
寛保三亥年三月廿九日養子
ニ仕候右佐兵衛儀死去ニ付御
目見定式引込隠居ニ被仰付
養父佐兵衛跡
寛延元辰年十二月十一日小普請入仕候
水野河内守組ニ入其自分不相成ニ付
ニ居候所病身ニ罷成候ニ付隠居
宝暦四戌年八月二日引込隠居
ニ付門三郎正毅ト改
相続目

松平右近将監殿ニ仕候小普請組頭中
出羽守支配之節
同十辰年二月十日家督同組頭へ
以下小普請組役金差出候
同年出羽守中被仰付
同十二子年六月十一日病死
小日向同寺ニ葬
法名金證院受心良紀

正勝
初名佐市郎　又門三郎

廿

妻　実父　御持筒頭[illegible]養女
　　実父　小普請[illegible]
上田伝右衛門良識養女

延享三寅年七月朔日生

清水後孫次郎代

宝暦十二午年閏四月　父[illegible]跡式
三百石　松平右近将監殿被仰渡
小普請組田中出羽守組ヘ入　同年十二月
七日　精勤[illegible]成同人組[illegible]
明和元申年十二月十六日　出火ニ付類焼

引続候
同五戊子年十二月　御番入
御目見　被仰付
同六己丑年正月十六日　御勘定ニ
被仰付　並之通御足高[illegible]　松平
右近将監殿被仰渡
同八辛卯年十二月十六日　御勘定吟味役
ニ被仰付　松平右近将監殿被仰渡
御勘定奉行松平対馬守殿申渡
同九壬辰年二月廿九日　出火ニ付類焼

取続候ニ付金拾両宛御渡候ニ付候得共
安永二巳年ゟ年々拾ヶ年賦返上納可仕
候処遠国御用相勤候ニ付年延被成
天明七未年返上納ニ付年延被
安永元辰年二月出火ニ而焼失いたし
取続候ニ付
同五丙申年十二月十六日御定高改
ニ候付兼而追々御拝借相勤候ニ付
於年寄追々御座候ニ付御用相勤候
着ニ而右同様之通中候付御拝借御座候

御拝借之儀相願候村上大隅守
御用之節被仰付
同六丁酉年二月御役所御番頭相勤
於年寄追々御座候ニ付御褒美金被成
下置候同年御役御勤仕同年
同月六日御役御免ニ而御暇
御同月ニ付同年七月十日
右御用相勤候ニ付御褒美被下置
於年寄追々御座候ニ付金拾両被下候
同八亥年三月六日被仰付村上切

添切開墾地之儀ニ付[illegible]新開之
分御座候處松平右近將監殿ニ御除地被
仰付今都ニ相成御除地被仰付候同年十月廿六日
御届仕候同年十二月新規御除地被仰付候
御届此月見ニ御座候
同十辛丑年[illegible]右之通御見分之上
被仰渡候ニ付松平右京大夫殿
ニ御除地被仰付候然ル戊年以来
三ケ年分御勘定所奉行御見分
大久保[illegible]月番[illegible]難[illegible]

[illegible]御預[illegible]御勘定所[illegible]
仰付
元文元辛巳年八月廿六日新開右
御検地松平右京大夫殿ニ御除
地被御除地被仰付
同五乙年九月廿六日中山氏出火候
為[illegible]月[illegible]御[illegible]
ニ付御除地全部被御除地被仰付
同年十二月廿六日御届仕同年四月
大久保新羽同同御届

御目見之儀仕候
同六丙午年十二月廿六日元服宅屋
手余ニ付金拾両拝借之候同年
十月御物成来之廻納皆済仕
同年八月廿日日光御参中之居
出府ニ付御見分為御徒之御用
之者方罷出候段及御沙汰時節
御金請取請代仕同年十二月十
御居住同年十二月廿
御代替付被下置候

御目見之儀仕別段御願
御目見之上分之儀仕候
同年十二月十六日御勘定組頭之仕
並之通御見分之為勤中之丹後
被疑被為老中御前被仰付同候段
之候付同日御天気御用可相
勤仕候出精ニ付御書付之者候條
被仰御勘定奉行素来候條申候
並之通御役料之儀之上
同年十二月晦日御書中之居御

條御用相勤候ニ付 出精
ニ付為金弐朱被下置候
同七丁未年六月廿五日 前書同光院御中
中ニ候処 出精いたし 兼而見分人馬
継立御用骨折出精相勤候ニ付為御褒美
取替被下置候ニ付 為金弐朱被下置候
同年十二月廿五日 右依願書付ニ而書付
御用ニ付差上ケ候処 銀弐枚 御褒美被下置候
ニ付御褒美 同年 同月十二日 御城ニ而書
御書 銀弐枚 御褒美被下置候 弐通

羽織金ニ拾疋被下候
同八戊申年二月朔日 御役所ニて 同月廿日
新規御用 御座候
御目見ニ付 御城へ 同年四月廿三日 右
御用相勤候ニ付 御褒美として銀弐枚
御褒美被下置候ニ付 御紋付 銀子金ニ拾疋被下
同年十月廿五日

禁裏

御所向ニ付 御普請御用掛ニ付 被仰付
右松平越中守様ニ付 同年十二月廿五日
御暇ニ付被下候 松平越中守殿ニ付被下

抜書

時服拾ゝ金三枚 清水付 右御用ニ付積
出精いたし候ニ付被下候旨被仰渡候
尚又此儀ニ付御褒美被下置候旨
寛政元己酉年十二月廿五日 右同代
右同 御申渡 被仰渡
同二庚戌年 十二月廿八日
御目見以上之内 正新選内最 叶嗜
御書翰御選 早可致旨清水被仰
御用之節 御養方 累年 校正之儀 取扱
御目見以上 御用 被仰渡

八宗和歌続編五巻 清書 付出
出来 御役御用 御進呈ニ付 清書
被下 御目見以上 右御書物 先年已被
御目見以上 清書 和歌類 続編
弐巻之清書 付之
御同 御目見以上之内 正 御新撰
叶嗜 御選 早可致旨 清書
被下 御目見以上 清書 御養 正歌 可致
大納言 明 梅山編 定編ニ付 清書
六歌仙続編 三巻 清書 付 右御用

右隠居之上者 以和大庵殿 大鏡寺
壇中ニ私共祖父儀 正親町宗殿
御座候墓所御座候 尤私共
者ん

元禄八戌年十二月私共儀座候
附札之通り御座候 以勤之事
右御同十五日ヲ以御為之御座候
属家任 同年十二月 右両人御座候節
同月九日 御絶家ニ被為成候
御同見ニ候付 右御立願

右痛ニ付 御除被成候ニ付 御存知
御座候 私共祖父松平和泉守殿ニ御座候
合力被 下置候 但私共 御座候一万石
以後御座候ニ付 御座候 四人
ニ御座候合力被 下置候
宝永三亥年 松平右京大夫殿
ニ御座候 以後 御座候
右之御座候 御座候 同年十二月
五日被下 御座候 安部正殿
ニ御座候 時節 合力被 下置候

濃州羽栗郡笠松陣屋ニ而勤仕
同年十二月廿五日江戸屋敷ニ而宅状焼
候ニ付
同七乙丑年 御目付中より御咎メ之
趣ニ而同年三月借地出府候処同年
同月十七日 郡羽同様御預ケ之
御用見習仕 御普請献上仕候間
勤候 同断
笠松陣屋ニ而御目付中より同年七月より笠松
野代 森出役 御供出役郡代出役

相勤 松平伊豆守殿より御頼 同年同月
廿六日 勤向ニ而候儀ニ付 被
松平伊豆守殿より御頼 同年八月十六日
郡羽同断 御目見仕 御勘定
取扱 御役 出役御組頭御
役 御勘定 羽織拝領仕候 大坂
右之趣同断
笠松陣屋ニ而濃州笠松陣屋
同八丙辰年 同月十八日より 代官
野田 右衛門 濃州郡代

御書院 御目見仰付 御廣敷用人 [illegible]
戸田宗女二被 仰付 時名部ゞ相續令
不相続仰付

正恒 傳十郎

母 山本作左衛門良義養女
早世 [illegible]
寛文 小柳師 竹田法印 清水 [illegible] 女
小普請組 [illegible] 支配
妻 遠山極馬景照女
安永二癸巳年六月廿三日生
寛政元酉年十二月廿六日 [illegible]

一

御目見 仰付
同六午 寛政年 [illegible] 御蔵奉行 [illegible]
達
上陸 [illegible] 小十人組 [illegible] 入 [illegible]
[illegible] 勤 [illegible] 人 [illegible]
[illegible] 年 [illegible] 仰付
[illegible]
同七乙卯年 [illegible] 小 [illegible]
[illegible] 同年七月 [illegible]
父 [illegible] 代 [illegible]

御小性組同年四月十九日西丸番ニ而
清兵衛跡ニ依付新ニ同番ニ召出之寸
御切米被下松平伊豆守組ニ御番御小性
組御番松平伊賀守組ニ入
同八丙辰年御小性組番頭杉浦出雲守
組ニ成
同十戊午年十二月十一日御小性組ニ成

女子
母
四ツ谷番方大番衆
是也
山本仁兵衛妻

女子
母
新御番稲田大和守組
林熊次郎妻

清泰
母
前同
泰之助

母
前同
寛政八丙辰年三月朔日小普請組組入
従兄弟松平清英養子

女子
母
右同
御小普請組河野大学組小川保之進妻

嫡子私弟并離別仕候　小十人組長田
讃岐守組　松井源吾長喜ニ罷成
右松井者長谷川丹後守組
当時者久林惣兵衛
山角金之丞支配　鍵吉

女子
母　同人
花月

男子
母　同人
孫之助
夭

男子
母　同人
秋蔵
夭

男子
母　同人
孫蔵

男子
母　同人
定之助
小普請組逸見甲斐守支配　遠山極馬養女

右之通ニ御座候

右之儀　当国之内
生国武蔵　居屋敷　下谷御徒町中町

寛政十一未年十二月　鈴木門三郎　当年
印

国立公文書館
National Archives of Japan